

2024
えんだより

2



ArteKodomoToKi

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼保園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

お知らせ

・年間行事予定でお知らせしています通り、生活発表会は17日（土）に開催致します。午前中で終了する予定です。詳細は後日お知らせ致します。

・来年度の延長利用/土曜日利用の申請について

毎年2月中旬に次年度の申請手続きを行います。現在ご利用の方に次年度の申請書と就労証明書をお渡し致します。4月以降、新規でご利用される方は事務所までお声掛け下さい。

2023年度 ソニー幼児教育支援プログラム



毒ジャガイモの実験

・今年度もソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」2023年度において賞を頂きました。
ホームページおしらせに論文をUPしておりますので、併せてご覧下さい。

February 2 2024						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2 節分	3
4	5 音楽あそび	6 リハーサル	7 運動あそび 0歳児健診	8 発育測定	9	10
11 建国記念日	12	13 リハーサル	14 音楽あそび 0歳児健診	15	16	17 生活発表会
18	19 音楽あそび	20 避難訓練	21 運動あそび	22 誕生会	23 天皇誕生日	24
25	26 音楽あそび	27	28 運動あそび	29	30	



保護者懇談会にご参加下さりありがとうございました。少人数のフリートークで、ある保護者の方が話を切りだし自然な会話を引き出して下さって嬉しく思いました。保育者は持論があり、つつい何でも教えてあげようとしてしまいがちです。誰かが一方的に説明して納得するのではなく、分り合おうとする「対話」を通して、それぞれが何かに気づき、お互いに自分自身で変わっていく関係づくりができればいいなあと思っています。

園長 山田寿江

良い保育者って？ ～気が利いて子どもに何でも先回りして教えてあげる～

気がつくことは大切ですが、教える、説明する、伝えるのが好きな人はとかく「聴く」ことが苦手です。「先生」と呼ばれていることで勘違いし、たくさん教えることで保育者の責任を果たしていると錯覚してないか自問してみます。いつも子どもに教えることばかりしていると、子どもが自分で考えて判断する力を奪ってしまうからです。自分の声を聴きとってもらった子どもだけが、相手の声を聴く力を獲得していくと言われています。共感的に受け止めてもらった子どもは、友だちの言葉を聴きながら自分の考えをつくりだしていきます。「対話」は「聴く」ことから始まります。お互いの声を響き合わせる面白さ、仲間との対話から新しい自分へ変わっていくしなやかさを育てていきたいですね。



大人顔負け ～なりきるごっこ遊び～

ままごとの料理姿は、ご家庭での真似っこなのでしょう。仕草が様になっています。保育園ごっこの先生役は、口調がそっくりでドキッとしますし、その語彙力や表現力に感心することもしばしばです。友だちとイメージを合わせて遊ぶことで想像力が膨らみ、自分と違う誰かになることで、それぞれの立場で物事を考えることもできるようになります。

「劇あそび」から仲間と創りあげていく「劇づくり」へ

物語の世界では、なれないものになれる面白さがあります。動物になったり、空を飛んだり、勇気が湧いたり、思いっきり怒ったり泣いたり… 普段はあまり感情を表わさないけれど、役になりきることで表現できることもあります。仲間とイメージを重ね合わせて「こうしたら？」とアイディアを出し合って共に物語を完成させていきます。ただセリフを覚えて順番を守るという型にはまった劇ではなく、劇づくりの楽しさを体験して欲しいと思っています。お互いの発想や演技を認め合い、観てもらう緊張感も共に乗り越えて、協同性が育まれることを期待しています。

そうだね わかるよ
共感できるなあ～
そうなんだ なるほどね
違う考えなんだね
どうかな こうしたら…
一緒に考えようよ
新しい これからへ
響き合うって 面白い

生活発表会は、0・1歳「ふれあい遊びの会」、2・3歳「劇あそびを楽しむ会」、4・5歳「劇・音楽表現を披露する会」として開催いたします。大きな拍手で温かく見守り、ご一緒にお楽しみください。

想像力の広がり

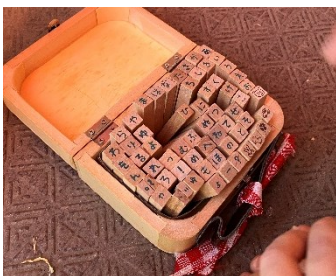
主任：中村

登園して朝の支度を始めた3歳の友達。ふと壁の方をみると、発表会で歌う歌詞が貼ってあり、お支度の手がピタッと止まりました。文字を指でなぞりながら「ぐりぐら、ぐりぐら…」と何度も繰り返し、太字部分は大きな声で言っていました。様子を見ていた保育者と目が合うと、見られて恥ずかしくなり逃げてしまいました。おおむね3歳になると、簡単なストーリーが分かるようになり絵本に登場する人物や動物と同化して考えたり、想像を膨らませたりしてごっこ遊びや劇遊びに発展させていく事があります。

遊んでいる時に友達同士でぐりとぐらの歌が始まったので、保育者が一緒になって参加すると「先生は歌っちゃダメ」と言い、場所を変えていました。

友達とイメージを共有しながら、想像の世界の中でごっこ遊びに没頭して遊ぶ事を楽しんでいます。

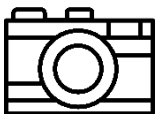
遊んでいるうちに自然とセリフや歌を覚え、表現する楽しさを知っていき、本番ではまた違った姿がみられるかもしれませんね



あそびの中の学び

主任：黒木

アート展で5歳ナノ組さんのお皿（リサイクル粘土使用）を展示しましたが、実際には一度固まった粘土を再生するには3年くらい寝かせる必要があります。ボソボソして扱いにくいのです。2回目のお皿作りは市販の粘土を使い、その違いを感じてみました。「やわらかいね」「ツルツルだね」粘土がよく伸びるので、前回よりも形に個性が出ました。名前の表記には、ひらがなスタンプを使いました。自分の名前を書ける子どもも書けない子どももいます。自分の名前の文字をスタンプから探すことで、「Aくんの“る”は僕にもあるよ！同じだね！」「Bちゃんは名前が2つだけど、僕は4つ押さないといけないよ」と嬉しそうです。Cくんは「おかあさんって押したいんだよ！だっておかあさんのお皿だから！いっぱい食べるから大きくしたんだよ。」と熱い想いが伝わってきました。



今月の表紙の写真は妹尾先生が撮ったナイスショットです。保育者に代わって自分がブラコンコを押してあげたいと言い、しばらく二人で遊んでいたそうです。顔を覗き込みながら揺らす姿に相手を思いやる気持ちの育ちを感じました。

※今月は“食”をテーマにしています。各クラスの様子をお楽しみください。

Atoo



お部屋の中心にはままごとコーナーがあります。お皿やコップをテーブルに並べて食卓を準備すると、両手を合わせて「いただきます」の挨拶をする姿が見られます。「りんご！」などと言葉や声にして食べ物を保育者に見せたり、食べる振りをしたりと遊びを通して食べ物に親しみをもっています。

Iさんはお皿にりんごやパイナップルをのせると、フォークを刺すように動かします。スプーンを持って座ると、「あーん」と言ってリンゴを食べる振りをしていました。丁寧にスプーンを動かし、本当にリンゴをこぼさないように食べているかのようでした。

小麦粉粘土で遊んだ時、Sさんは透明な容器に丸めた粘土を沢山入れ、嬉しそうに持ち歩いていました。ままごとコーナーに来るとスプーンを見つけ、粘土を器用に捌きます。口をパクパクと動かし、粘土を食べ物に見立てて食べる振りを楽しんでいました。

子ども達は実際の食事でも食具を使って食べることができるようになってきました。食具の使い方が分かってきたことで、更に遊びが面白くなってきたようです。日々の食事の経験が、遊びにも繋がっているのでしょう。

新しい年になり、子ども達の成長に合わせてお部屋のレイアウトを変え、遊びと食事のスペースを分けていた仕切りも外しました。

毎日の給食は子ども達にとって楽しい時間です。保育者が食事の準備を始めると、「もうすぐご飯だ！」と気付いて椅子に座り始める姿が見られます。Hさんは食事の時間だと気づくと、自らウォールポケットからエプロンを取って来ました。食事に必要なものが分かっており、自発的に行動する姿に成長を感じました。Yくんは少し前までコップで飲むことを嫌がっていましたが、最近ではコップを持って飲むようになってきました。口元にコップを添えたり、友達が飲んでいる姿を見たりするうちに慣れていったようです。



Ato1

Ato Cafe オープン

お部屋のレイアウトが変わった日のこと。ままごとコーナーにカウンターテーブルを置いていることに気が付いた子ども達が続々と集まってきました。

「いらっしゃいませ〜。」

「ぶどうジュースくださ〜い。」

「ドーナツは？」

大繁盛でとうとうドーナツは完売に！

空っぽになったケースを見て子ども達はケラケラと笑います。この後も乾杯や料理の注文が続き、大賑わいでした。



食べてみようかな、でもやっぱり〜

食事が運ばれてくると、自然と手を洗い出していた数力月前、今では保育者が誘っても“まだ遊びたい”と遊び続ける姿が増えてきました。しばらく様子を見てみると、スッと手を洗いに来るときもあり、大人が思っている以上に子ども達が成長していることを実感する毎日です。

Aさんは味の評論家、この日もお得意の「すっぱ〜い。」「あま〜い。」と味を保育者に伝えています。保育者にキノコをすすめられると、一目見て少し固まった後「ん〜。」「いらない。」と拒みます。よく言えました！

何を食べるか自分で選ぶのも満足感につながっています。



なにこれ？音がする〜

節分にちなんで、大豆と落花生を触って遊びました。

「イチゴみたい。」

袋に詰まった大豆の匂いを嗅いでそう言います。

大豆を触るとボロっと崩れ、潰して遊び始めました。

落花生の殻が少し破れて、中に何か入っていることに気が付いたTくん。落花生を振って中身を出そうとしますが、一向に出てきません。それを横目にIくんは殻をむき始めました。硬い殻も剥けるとは！

中身が出てきたところで、「あ！豆入ってる！」「どんぐりみたい。」2人のなかでは豆のようなどんぐりのような物のようです。硬い豆は馴染みがないのかもしれませんが。

手はほんのり豆の匂い〜。ご家庭ではどちらを投げますか？

※ナッツ類の扱いには十分注意しておこなっています。



Píco2

“幼児クラスへ向けて”

年始明け1月4日から、幼児クラスで行なっているビュッフェスタイルの配膳が始まりました。最初は、保育者がやり方を説明しながら見本を見せると、興味津々で見ていた子ども達。「できるかなあ？」と保育者が尋ねると「できる!」「やりたい!」と意欲的な答えが返ってきました。実際に一人ひとり順番にやってみると、子ども達の返事とおりです。真剣に見て、しっかりと話を聞いていた証拠です。

保育者の見本を真似しながら、自分のスプーンとフォークを取ってトレーにのせます。そしてテーブルの上に置き、主食から順番に聞いていくと、「同じにします」「少なめにします」と考えてから選ぶ姿が見られました。中には、「お肉は1個、野菜は少し」などと細かく伝えてくれる児もいます。食べられるものの、量が分かるようになってきたようですね。トレーを運ぶ時は、こぼさないように慎重にゆっくりと歩いています。



“おかわり大好き!”

おかわり時間になると、「〇〇のおかわりください」と、自分でお皿を持って、もらいに行くようになりました。おかわりは、全部完食“ぴっかりんしてから”です。好きなものを食べ終わってしまうと、もっと食べたくなくなってしまい、「おかわり!」と席に座ったまま言ったり、おかずや汁が残っていても、お茶碗を嬉しそうに両手で持って「ご飯のおかわりください」ともらいに行ったりする児もいて、微笑ましくて思わず笑ってしまうこともあります。「全部ぴっかりんしてからだよ」と伝え、ちょっと苦手な野菜も頑張って食べて、「見て見て!ぴっかりんしたよ!!」と誇らしげな表情を見せながら、おかわりに向かう姿が多く見られるようになってきました。おかわりに行くことが楽しくて、以前より食べる量が増えてきた子ども達です。

Nam03

～いっぱい食べて、パワーをつけるぞ！～

新年を迎え、お正月遊びを楽しんだ 3 歳さん。次の『もちつき』をとて楽しみにしていました。

「お獅子はいつー？」と不安そうな声が聞こえてきたある日のお集まり。お獅子も来るけど同じ日に餅つきもあることを保育者が話すと、子ども達の表情がにこやかに変わっていました。でも、お餅をつくには『パワー』が必要。そのためにはお肉もお魚もお野菜もフルーツも、いろんな食べ物を食べてないとね！と保育者に言われると、その日から子ども達の食べる勢いはいつもより増していました。



すごいね！かっこいい！と褒められたく、食べきったお皿を見せたり、いっぱい食べたらパワーがつくね！と聞いてモリモリ食べたり……。子ども達の食べる意欲は様々なところから繋がっています。



～ぼくたち・わたしたち またひとつ、大きくなるんだね～

進級に向けて給食を食べる場所がランチルームに変わりました。椅子以外にもソファ席があり、テーブルには 3 歳さんだけではなく 4 歳さんもいるので、新しい環境での食事に喜びを感じているようです。

普段過ごしている部屋なのでそんなにドキドキしているわけではなさそうですが、テーブルを見ると 3 歳さんが集まって座っているテーブルが多く、クラスの友達との絆を感じます。

4 歳さんの食具の持ち方を見て真似したり、負けじとたくさんおかわりをしたりする姿が見られていて、様々な刺激を受けているようです。



Nano4

★4歳5歳のランチでは、毎日色々な会話が子ども達の中で繰り広げられています。5歳Kくんが一緒にテーブルにいる5人の友達に「保育園の給食で1番何が好き？」と、質問しました。ちなみに、その日のメニューは（鮭の照り焼きでした。）他の4人は一瞬考えます。Kくんは、「ぼくはカレーが1番好き」と答えます。4歳のBくんは、「鮭とカレーと……」Jくんも「鮭とかカレー」と答えました。これだけ、毎日のように色々なメニューを何年も食べているのにも関わらず、その日のメニューを選ぶ？と、心の中で思いましたが、案外子ども達の中では今まで食べて来た物を忘れているのかもしれませんが、もしくは、目の前に鮭があったので鮭と答えたのかもしれませんが、子ども達の回答に笑ってしまいました。そして、カレーは勿論みんな大好きなメニューですよ。

★5歳児クラスのIくんが、「見て見て～こんなにお皿が綺麗になったよ！」と、食べ終わったお皿の事を隣のAちゃん（4歳）に見せました。するとその姿が刺激になったのかAちゃんもあっと言う間にペロリと平らげると「私のも見て見て」と、ピカピカのお皿になっていました。そのお皿を今度はIくんに見せて2人で確認します。すると、2人は「もう、これよりかは綺麗に出来ないよね」と嬉しそうです。後は、お皿でもバリバリ食べるしかないよね、などとケラケラ笑いながら冗談を言いあっていました。これも、異年齢での関係性が垣間見えた瞬間でした。



～もちつき楽しい～

年が明けてから、お餅つきがありました。昨年の事もしっかり覚えている子もいて「あれ苦手なんだよな～」とつぶやく子も。「お餅つきに必要な物ってなんだろう？」と、子どもに聞くと「お餅をつくのはキネ！」「お餅が入っているのがウス！」と教えてくれました。1人ずつ10回ほど体験しましたが、周りで見ている子ども達は応援団のようで4～5人で肩を組んではキネのタイミングを見計らって「ヨイショー！ヨイショー！」と、声を揃えてついてる友達を応援していました。そんなかけ声もあり、ついてる子はパワーをもらったようで楽しんで参加する姿が伺えましたよ。

Nano5

「結構食べるんだね」

当番活動もお手の物になり、食事の配膳では頼りになる姿をみせてくれています。ただ食事をよそうだけではなく、「同じにしますか？少なくしますか？」と、友達ひとりひとりとやり取りをする瞬間があります。短くはありますが、自分の意思を伝えたりあまり関わらない友達と言葉を交わしたりと、大切な対話の時間でもあるのです。

ある日当番になったAさんが、4歳ナノ組のB君が食事量を「同じにします」と答えたことに対して、「結構食べるね」とボソッと呟いていたことがありました。隣で聞いていて微笑ましく感じたと共に、あまり関わりのないB君のことをAさんが知るきっかけになったのだなと感じました。



～犯人は誰だ～

先月の園だよりからの続きです。畑の大根やブロッコリーをかじった犯人探しが続いています。収穫したときに保育者が言った「小さいおじさんかなあ」「色々図鑑で調べてみてね」という言葉から、クラスに1冊の本が届きました。それは『こびと大図鑑』です。なんともユニークなこびとたちにあっという間に魅了された子ども達は、それぞれの性質を読みながら犯人を突き詰めようとしていました。

「監視カメラに赤く光っている物が映っていたらいいから、この赤い目のやつが怪しいよね。」

「土の中にいる虫っぽいからこれじゃない？」

「これはまつ毛が赤いから可能性ありそう…」

と、友達と頭を寄せ合って推理を繰り広げていました。

探求心を持って考えながらあそぶことや、ファンタジーの世界に入り込んで想像力豊かに楽しむことを、たくさん経験してほしいと思っています。



「おいしい匂い、これは抹茶ケーキかな」

「色が同じでも匂いが違うね、こっちがちょっと、葉っぱの匂いが多めです」(4歳ナノ組Aさん)



「モノ(世界)を『知る』ということ」

次にその葉をすり鉢の中でできるだけ細かく手で碎き、さらにすりこぎ棒を使ってゴリゴリと粉になるまですり潰します。この遊びの中で子ども達は一体何を楽しんでいるのでしょうか。3歳のYさんは、葉の香りから気になる一枚を選びました。

「これイチゴの匂い?やっぱりブルーベリー-の匂いかな」

他にも「コーラの匂いがする」「ちょっとすっぱい匂い?」などと子ども達一人一人が感じたことを言い合いながら「え、どれ〜?」などとその興味の輪が広がっていきます。さらに、すり潰された粉は色別に容器に分けていきます。すると今度は

子ども達が集まって来て口々に言います。

「葉っぱゴリゴリする〜」「したい〜」

『葉っぱゴリゴリ』は自然素材(枯れ葉)を使った、子ども達のお気に入りの『感覚あそび』のひとつです。

まずは何種類かの枯れ葉の中から、自分の気になる葉を1枚選びます。



「茶色はチョコレート」と色からもイメージが広がります。また興味の先は香りや色にとどまらず、すり潰し粉になった葉の手触りにも。



「ふわふわ〜」「黄色の方が柔らかいよ」4歳のCさんは指先で色々な粉の感触を確かめながら、色の違いによる手触りの違いを発見。

『葉っぱゴリゴリ』のベテランのAさんがやって来ました。Aさんは3歳の頃からゴリゴリを楽しんでいます。Aさんは葉をすり潰し、網でこすことを繰り返し、その間に何度も他と香りを嗅ぎ比べこう話してくれました。

「おいしい匂い、これは抹茶ケーキかな」「色が同じでも匂いが違うね、こっちがちょっと、葉っぱの匂いが多めです」この言葉からも、子どもは触覚・嗅覚・視覚などの五感をフルに働かせ、多様な認識を統合しながらひとつのモノ(世界)を理解していくことが分かります。そしてさらにAさんはこう続けたのです。「これは葉っぱでできたニセモノのパフェ、美味しくないよニセモノだから」その醒めた目にも脱帽です。(文責:一然)



ほけんだより

～うんちができるまで～

食べた物がうんちになるまでをすごろく遊びを通して学びました。ゲーム中は我先にと夢中でゴールを目指す子供たちでした。そのため、すごろくと照らしあわせながら「そのときうんちはどこにいる？」という絵本を読んでおさらいをしました。すると、「胃は6番」「小腸はあれだよ！」と言いながら指を差し、しっかりと学んでいました。

～バナナうんち大作戦～

ねばねばした食品を摂るとうんちがつるんと出ます。発酵食品は腸でいい腸内細菌となつてうんちを作ります。「納豆ご飯食べてきた」「納豆好き」という子供たちでした。

～冬の隠れ脱水と便秘に注意～

夏に比べるとのどの渇きを感じにくいので、出ていく水分と補給される水分のバランスが崩れ脱水症状が起こりやすくなります。体内の水分が不足がちになると、便が固くなって便秘になることがあります。積極的に水分を摂るようにしましょう。

子どもに必要な水分量：体重1kgあたり／1日

新生児：約50～120ml 乳児：約20～150ml

幼児：約90～100ml



～誤嚥・窒息に注意しましょう～

「おには一そと一、ふくはうちー」様々なところで節分の催しが行われます。**豆類などをかみ砕くことが必要な食品は5歳以下の子供には食べさせないように**とされています。子供はかみ砕く力が弱いので、誤嚥や、窒息事故が起きやすいのでご注意ください。ご自宅で豆まきをするときは、個包装された物を使うなどの工夫をしましょう。また、子供は面白がって豆を鼻に入れてしまうことがあります。子供が豆を入れてしまった！というときは……

1. 顔を仰向けにしてみる。外から見え、つまみだせそうなら指で慎重につまみだす。
鼻汁でヌルヌルしているため、さらにおくに入ってしまう、気管に落ちて窒息に至る危険があるためピンセットなどで無理やりにとろうとしない。
2. 反対側の鼻を刺激してくしゃみを誘導する。フンと鼻をかませてみる。ただし、鼓膜を痛めるため、何回もかませない。
3. 専門医（耳鼻科）を受診する。

発育測定 2月 8日（木）

0歳児健診 2月 7日（水）

2月14日（水）

2月保健指導 「耳のはなし」



Lunch & Snack time

食育だより

暦のうえでは春になりますが、まだまだ寒い日が続きますね。

冬は空気が乾燥しているため、寒い時季でもこまめな水分補給を心がけましょう。

クリスマスランチ

12月25日のクリスマスは1階ホールでレストランが開店していました。

5歳ナノ組さんをご招待！料理をサーブすると「大きなお皿！」といつもと違う盛り付けに目を輝かせていました。ソースを目の前でかけてあげると「僕はたくさん！」「私は少しだけ」などシェフとの会話もありました。

みんな特別なランチタイムを楽しんでいましたよ。



🌿 アルテの畑から

12月に収穫した大根で5歳ナノ組さんが作っていた切り干し大根は年末年始のお休みが明けてパリパリに出来上がりました。

出来上がった切り干し大根を食べるため、洗って水につけて戻す作業を子どもたちにしてもらいます。切り干し大根のにおいを嗅いで「やっぱり大根の匂いだ〜」「すっぱい、レモンみたい！」、洗いながら「コーンフレークみたいになってきた」とおもしろい声も聞こえてきました。

調理した切り干し大根はおやつの時間にみんなで試食！「柔らかくなってるよ」「噛んでると甘くなる」「大根の味がした」と元気に感想を教えてくださいました。

節分

節分は、立春・立夏・立秋・立冬と「季節を分ける」という意味で、各季節の始まる前日を指します。特に立春は1年のはじまりとして重要視され、今では立春の前の日を節分と呼んでいます。2024年の立春は2月4日なので節分は2月3日です。季節の変わり目は悪い気が入りやすいといわれており、その悪い気を「鬼」にたとえ、鬼を追い出し、福を取り込む行事として節分は定着しています。

～「こどもの栄養」より～

給食では鬼が嫌うとされている“いわし”を使ったメニューを提供予定です。

🍡 2月の行事食 🍡

2/2（金）節分

〔昼食〕

ご飯、いわしのかば焼き、
かぶの梅和え、豚汁、いちご

〔おやつ〕

おに蒸しパン

2/14（水）バレンタインデー

〔おやつ〕

バレンタインケーキ

2/22（木）お誕生日会

〔昼食〕

ベーグル、ふんわりハンバーグ、
花野菜サラダ、コンソメスープ

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ
(りんご) 🍏

冬の野菜

ビタミンやカロテンなどの栄養価を多く含む冬野菜は、免疫力を高め、風邪の予防にも効果があるといわれています。いいことづくしの冬野菜、煮物や鍋など、体が芯から温まる料理に使って、寒い冬を乗り切りましょう。

～農林水産省「aff」より～

2月の旬の食材

カリフラワー、キャベツ、グリーンピース、小松菜、さつまいも、さやえんどう（きぬさや）、じゃがいも、春菊、セロリ、大根、玉ねぎ、菜の花、ねぎ、にら、白菜、ブロッコリー、ほうれん草、水菜、みつば、れんこん

